

彗星課月報

Monthly Report of the Comet Section, August, 2010

課長：佐藤 裕久 *H. Sato*

幹事：村岡 健治 *K. Muraoka*

幹事：下元 繁男 *S. Shimomoto*

○8月の状況（佐藤）

☆ 240P/2002 X2 = 2010 P1 (NEAT)

8月10日 23:05、東京都大田区の佐藤英貴氏からメールで「2010 OR₁ や C/2010 DG₅₆ の観測の後、東空に昇ってきた P/2002 X2 の検出を試み、明るい彗星像を検出しました。中央局には一応報告しましたが、もう一晩の観測を試みます。日本で最初の確認観測を行ってほしいので、門田さんらに観測のお願いをしました。台風接近中という時期の悪さであり、難しいですね」とのコメントと検出位置そして画像が送られてきた。

翌11日 4:37、筆者から「…北西に短い尾が見えていますね。もう一夜の観測を期待しています」との返答に、同日 21:29、佐藤英貴氏から「昨夜は連結軌道、どうもありがとうございました。さきほど、二夜目の観測を行うことができました。おそらく私の後に遊佐さんが観測を行ってくれているようです」とのコメントと二夜目の位置観測の報告があった。

12日 21:58、筆者から彗星課メーリングリスト（以下 oaa-comet ML という。）に「佐藤英貴さんによって 10 月に回帰する P/2002 X2 (NEAT) が検出されました。佐藤英貴さん、おめでとうございます。遊佐さん、門田さんによって観測されました。…」とのコメントした。

13日 1:40、佐藤英貴氏から oaa-comet ML に「昨年6月にリモート観測を開始して以来、周

期彗星の検出は一つの目標でしたが、今までの試みは失敗し続けてきました。P/2004 X1、P/2002 T1、P/2003 A1、P/2001 R6、P/2005 JQ₅、P/2003 UY₂₇₅ (prerecovery observation) などです。これらの失敗の積み重ねの上に今回 P/2002 X2 の検出は行い得たと思っています。

残念ながら私よりも早く検出に成功された米国の Tayler 氏がおりましたが、独立検出者の一人に名を連ねることができたことは誇りに思います。台風の接近という悪条件の中、追跡観測の態勢をとっていただいた位置観測者のみなさまにお礼申し上げます。…」とのコメントがあった。

☆ 241P/1999 U3 = 2010 P2 (LINEAR)

8月13日 1:24、佐藤英貴氏からメールで「残念ながら、私より前に検出された方(米国の Taylor 氏)がおられましたが、無事に独立検出者に名を連ねることができました。この彗星は出現時の観測が1年半近くもの長期にわたって行われていたにもかかわらず、木星への接近の影響もあり、比較的大きな軌道の誤差がありました。明るくなるまで検出されなかったのはそのためでしょうか。ところで、本日、明け方に低い P/1999 U3 の検出を試み、予報位置よりわずかに東に 4.0'、南に 1.4' ずれた位置にモーションが一致する彗星状天体が写りました。全光度は予報よりもやや明るく 17.6 等でした。

私自身でも明日以降に追跡を試みますが、何人かの国内の位置観測者にも観測を依頼しました。台風が過ぎた後で、2002 X2の時よりも天候は良いので、国内で観測が成功すればよいと願っています」とのコメントと位置観測そして画像が送られてきた。

同日 23:04、同氏からメールで「先ほど、P/1999 U3の二夜目の観測を米国のリモートで行うことができました。本日は総露出 24 分の像から、西北西に伸びた淡い尾が見えます」とのコメントと二夜目の位置観測そして画像の報告があった。

14 日 8:50、筆者から oaa-comet ML に「P/1999 U3 (LINEAR) が佐藤英貴さんによって検出されました。佐藤英貴さん、おめでとうございます。二夜目の画像には p. a. 290°に 30"の淡い尾が写っています。

http://www.hi-ho.ne.jp/hirohisa-sato/p1999u3_recovery.htm …」とコメントし画像を紹介した。

同日 16:39、宮城県大崎市の遊佐徹氏から oaa-comet ML に「…佐藤英貴さん、このたびは、P/2002 X2 = P/2010 P1 (NEAT)、P/1999 U3 = P/2010 P2 (LINEAR) と相次ぐ検出の快挙、まことにおめでとうございます。素晴らしい成果、スゴイですね！二つ目はお力になれず、すみませんでした」とのコメントや、同日 7:50、高知市の村岡幹事から同じく「佐藤英貴さん、ついにやりましたね！おめでとう！」のコメントが、また、17 日 23:31、同じく宮城県栗原市の高橋俊幸氏からも「…連日の快挙おめでとうございます。今回は 2 件とも天候の都合でお役に立てずすみませんでした」とそれぞれお祝いのコメントがあった。

○ 8 月に発見・検出されたその他の彗星

☆ P/2010 N2 = 2005 U1 (Read) J. Pittichova (ハワイ大学天文学研究所) からの報告によると、7 月 7.43 日 UT、Mauna Kea にあるハワイ大学の 2.2-m 望遠鏡で得た CCD イメージから核光度 23.6 等の P/2005 U1 を検出した (IAUC 9158, 2010 Aug. 6)。

☆ 239P/2010 C2 = 1999 XB₆₉ (LINEAR) G. V. Williams (小惑星センター) は、今年 2 月の始め、WISE によって観測された中に P/1999 XB₆₉ があることを確認した (IAUC 9159, 2010 Aug. 11)。

☆ 242P/1998 U4 = 2010 P3 (Spahr) 8 月 14.41 日 UT、Gary Hug (Sandlot Observatory, 0.56-m 反射) は、核光度 20.0 等の P/1998 U4 を検出した (IAUC 9161, 2010 Aug. 16)。

☆ P/2010 P4 (WISE) 8 月 6.59 日 UT、WISE によって全光度 20 等の彗星が発見された。小惑星センターの "NEOCP" に公表後、T. H. Bressi (LPL/Spacewatch II, 1.8-m f/2.7 反射) ら位置観測者たちにより彗星状と観測された (IAUC 9161, 2010 Aug. 16)。

☆ 243P/2003 S2 = 2010 P5 (NEAT) 8 月 12.44 日 UT、E. Guido と G. Sostero (RAS 天文台, Mayhill, ニューメキシコ州の 25-cm 反射の遠隔操作) は、全光度 18.9 等の P/2003 S2 を検出した (IAUC 9162, 2010 Aug. 17)。

☆ 244P/2000 Y3 = 2010 Q1 (Scotti) 8 月 19.38 日 UT、J. V. Scotti (Arizona 大学) は、Kitt Peak の 0.9-m Spacewatch 反射望遠鏡によって核光度 20.9 等の P/2000 Y3 を検出した (IAUC 9163, 2010 Aug. 24)。

その他明るい彗星は、2P/Encke, 65P/Gunn, C/2007 Q3 (Siding Spring) 等であった。

● 眼視等観測報告

C/2009 K5 (McNaught)

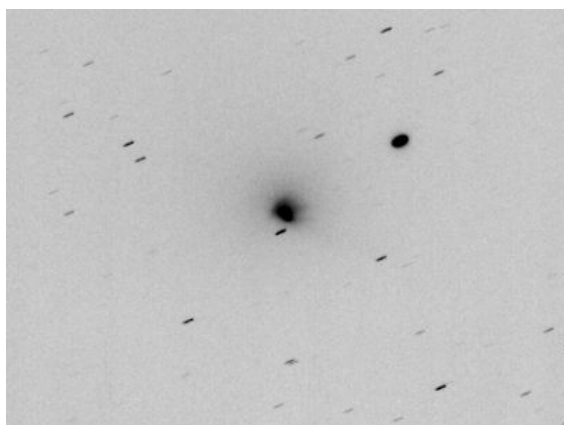
2010	UT	m1	Dia	DC	Tail	p. a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer
Aug.	7. 75	11. 4	1. 0'	4	-	-	-	-	144×40-cmL	吉田誠一

10P/Tempel (写真 a)

2010	UT	m1	Dia	DC	Tail	p. a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer
Aug.	7. 74	8. 7	8. 5'	6	-	-	-	-	36×40-cmL	吉田誠一
	9. 69	9. 3	6	4/	-	-	3/5	3/5	25×10-cmB	佐藤裕久
	17. 75	8. 7	6	4	-	-	4/5	4/5	25×15-cmB	松本幸久

103P/Hartley (写真 b)

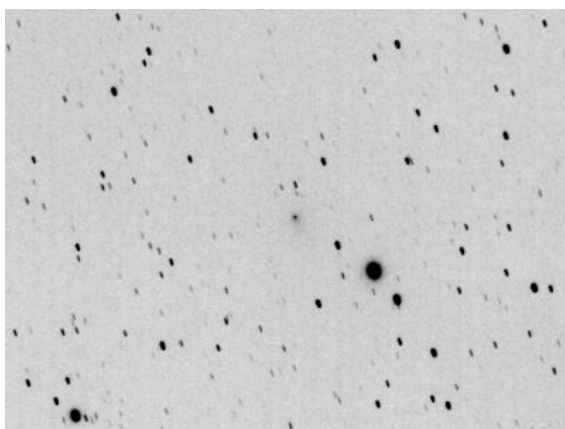
2010	UT	m1	Dia	DC	Tail	p. a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer
Aug.	7. 57	13. 4	0. 6'	6	-	-	-	-	257×40-cmL	吉田誠一



(写真 a) 10P/Tempel 2010, 08, 07

0h30. 0m-50. 5m (JST) exp. 60s×13 T0A130+CCD

三重県伊賀市上野 田中利彦氏



(写真 b) 103P/Hartley 2010, 08, 27

23h45. 0m-55. 0m (JST) exp. 60s×7 T0A130+CCD

三重県伊賀市上野 田中利彦氏